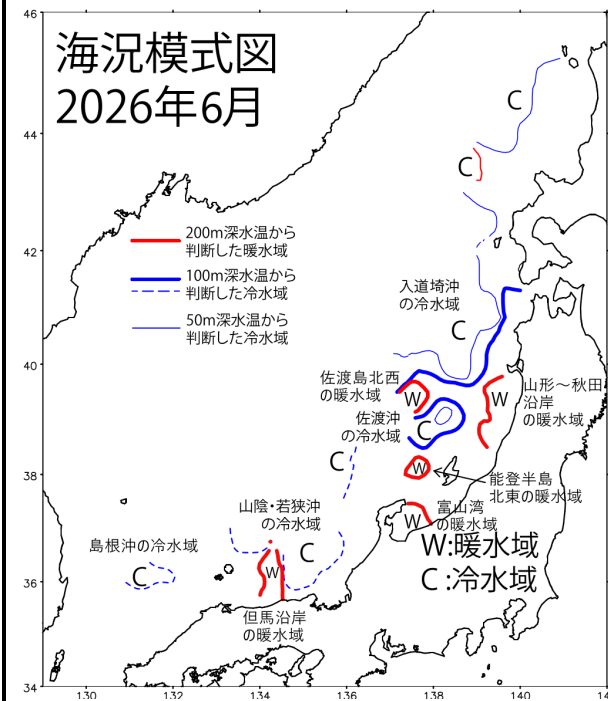




## 2026年度 第2回 日本海海況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構  
水産資源研究所がとりまとめた結果 －

### 今後の見通し(2026年7月中旬～9月)のポイント



- 但馬沿岸の暖水域は北東へ移動し、若狭湾北方に分布。富山湾の暖水域は北東へ移動し、佐渡島南西に分布。能登半島北東の暖水域は西進し、能登半島北方に分布。佐渡島北西の暖水域は弱体化し、消滅。山形～秋田沿岸の暖水域は西進し、佐渡島北東に分布。
- 島根沖の冷水域の張り出しは、やや小さく接岸距離は平年並みで経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模・接岸距離ともに平年並みで経過する。佐渡沖の冷水域の張り出しは、かなり小さくかなり離岸で経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、やや大きくやや接岸で経過する。
- 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- 対馬暖流域の水深 50 m 水温は、日本海西部、北部ともに“やや高め”で経過する。。

(註)用語の定義は以下のとおり。

“はなはだ”：出現確率約 22 年に 1 回、“かなり”：出現確率約 7 年に 1 回

“やや”：出現確率約 3 年に 1 回、“平年並み”：出現確率約 2 年に 1 回

### 問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構

担当：海洋環境部（新潟） 西内、阿部

電話：025-228-0451、ファックス：025-224-0950

当資料のホームページ掲載先URL

<https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/>

# 2026年度 第2回 日本海海況予報

## 1. 今後の見通し（2026年7月中旬～9月）

- (1) 但馬沿岸の暖水域は北東へ移動し、若狭湾北方に分布。富山湾の暖水域は北東へ移動し、佐渡島南西に分布。能登半島北東の暖水域は西進し、能登半島北方に分布。佐渡島北西の暖水域は弱体化し、消滅。山形～秋田沿岸の暖水域は西進し、佐渡島北東に分布。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、やや小さく接岸距離は平年並みで経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模・接岸距離ともに平年並みで経過する。佐渡沖の冷水域の張り出しは、かなり小さくかなり離岸で経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、やや大きくやや接岸で経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の水深50 m水温は、日本海西部、北部ともに“やや高め”で経過する。

## 2. 経過（(1)は2026年3月～6月、(2)～(3)は2026年3月～5月、(4)は2026年6月）

- (1) 3月に能登半島北方に見られた暖水域は、4月にやや西進して縮小し、5月と6月に東進し、能登半島北東に分布。4月に隠岐島北方に暖水域が出現、5月に停滞し、6月に消滅。4月に男鹿半島沿岸に暖水域が出現、5月に停滞し、6月に消滅。5月に但馬沿岸に暖水域が出現し、6月に北方に拡大し停滞。6月に富山湾、佐渡島北西、山形～秋田沿岸に暖水域が出現。
- (2) 島根沖の冷水域は、3月はかなり小さくやや離岸、4月はかなり小さく接岸距離は平年並み、5月はかなり小さくやや離岸、山陰・若狭沖の冷水域は、3月は規模・接岸距離ともに平年並み、4月はやや大きく接岸距離は平年並み、5月はかなり大きくかなり接岸、佐渡島沖の冷水域は、3月は規模・接岸距離ともに平年並み、4月はかなり小さくはなはだ離岸、5月はやや小さくやや離岸、入道埼沖の冷水域は、3～4月はやや小さくやや離岸、5月はやや小さくかなり離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、3月は能登半島北西で“やや低め”～“はなはだ低め”、積丹半島北西で“やや低め”～“かなり低め”、但馬北方、輪島沿岸、新潟沿岸、秋田沿岸で“やや低め”、浜田沿岸、能登沿岸、酒田西方、津軽半島西方で“かなり高め”、北海道沿岸で“はなはだ高め”以外は“平年並み”～“やや高め”、4月は隠岐島北方～能登半島北岸、深浦西方で“平年並み”、山口沿岸・北方、出雲沿岸、佐渡島北岸、渡島半島西方～積丹半島西方、道北西岸、利尻島西方で“はなはだ高め”以外は“やや高め”～“かなり高め”、5月は丹後半島北方、佐渡島北西、深浦西方で“やや低め”、山口沿岸・北方、能登半島西岸・北岸～能登半島北方で“かなり高め”、浜田北方で“はなはだ高め”、それ以外は“平年並み”～“やや高め”。
- (4) 対馬暖流域の水深50 m水温は、西部・北部ともに“やや高め”。

## 3. 現況（2026年3月）

- (1) 暖水域は、但馬沿岸、富山湾、能登半島北東、佐渡島北西、山形～秋田沿岸に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は規模がかなり小さくやや離岸、山陰・若狭沖の冷水域はやや大きくやや接岸、佐渡島沖の冷水域はやや小さくやや離岸、入道埼沖の冷水域は規模・接岸距離ともに平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、秋田沿岸で“やや低め”～“かなり低め”、佐渡島北岸で“やや低め”、鳥取沿岸、能登半島西岸～富山湾、佐渡島北東、渡島半島沿岸・西方、石狩湾～利尻島西方で“かなり高め”、山口～島根沿岸・北方、若狭湾で“かなり高め”～“はなはだ高め”以外は“平年並み”～“やや高め”。
- (4) 対馬暖流域の水深50 m水温は、西部・北部ともに“やや高め”。

(註) この海況予報は、国立研究開発法人水産研究・教育機構により開発され、2022年3月より運用を開始したFRA-ROMS IIシステムを主に用いて実施し、気象庁による北陸地方の気温の3か月予報（4月～6月）も参考にした。引用符（“ ”）で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- |              |                               |
|--------------|-------------------------------|
| ”はなはだ高め（低め）” | : 22年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ（低さ） |
| ”かなり高め（低め）”  | : 7年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ（低さ）  |
| ”やや高め（低め）”   | : 3年に1回の出現確率である1℃程度の高さ（低さ）    |
| ”平年並み”       | : 2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温   |

## 参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場	福井県水産試験場
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	京都府農林水産技術センター 海洋センター
秋田県水産振興センター	兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター
山形県水産研究所	鳥取県水産試験場
新潟県水産海洋研究所	島根県水産技術センター
富山県農林水産総合技術センター 水産研究所	山口県水産研究センター
石川県水産総合センター	一般社団法人 漁業情報サービスセンター  (取りまとめ機関) 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所